

2019年度化学物質環境実態調査結果 地域別データ

調査名: 初期環境調査
 調査媒体: 水質(ng/L)
 地方公共団体: 新潟県
 調査地点: 信濃川下流(新潟市)

調査対象物質	測定値	報告時 検出下限値	検出下限値
[3] <i>o</i> -アミノフェノール	10	2	2.3
[7] 3-[[[(ジメチルアミノ)カルボニル]オキシ]-1-メチルピリジニウム (別名: ピリドスチグミン)	nd	0.043	0.043
[9] <i>N,N</i> -ジメチルピグアニド塩酸塩 (<i>N,N</i> -ジメチルピグアニドとして) (別名: 塩酸メトホルミン (メトホルミンとして))	22	0.17	0.17
[11] タリウム及びその化合物 (タリウムとして)	18	0.36	0.14
[12] 2-(1,3-チアゾール-4-イル)-1 <i>H</i> -ベンゾイミダゾール (別名: チアベンダゾール)	nd	0.69	0.69
[13] チアムリン	nd	0.0094	0.013
[14] <i>N</i> -ニトロソジエチルアミン	0.056	0.026	0.026
[15] <i>N</i> -ニトロソジメチルアミン	0.34	0.024	0.024
[18] ピリメタニル	nd	0.21	2.1
[21-1] モノフルオロ酢酸	nd	0.76	0.76
[21-2] ジフルオロ酢酸	nd	0.32	0.32
[21-3] トリフルオロ酢酸	65	8.2	8.2
[22] レボフロキサシン	1.4	0.44	0.44

(注1) 「nd」は不検出を意味する。